

かものういんだより

2018年9月号

発行：静岡県賀茂農林事務所

所在地：〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1

電話番号：0558-24-2074 FAX番号：0558-24-2163

ホームページ：http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-710/



平成30年度優良建設工事等表彰式

平成30年8月8日（水）に下田バイステージにて平成30年度優良建設工事等表彰式を開催しました。

当農林事務所の工事において、以下の2件を表彰しました。

(1) 優良工事表彰

受注者	工事名	工事箇所
南国本組	平成29年度治山（予防）谷戸洞工事	西伊豆町田子地内

(2) 優良技術者表彰

受注者	工事名	工事箇所
東海建設㈱	平成29年度治山（緊急予防）陰山工事	河津町笹原地内

平成30年度優良建設工事等表彰式



担当：総務課（0558-24-2075）

鳥獣被害対策の技術指導者育成研修

平成30年6月26日（火）に野生鳥獣による農林業への被害を防止するため、生産者とその関係者を対象に研修会を実施しました。

賀茂地域は地形が複雑で作物も多様であることから、被害対策に必要な技術や知識が地域によって異なる部分が多くあります。そのため、管内東部、中部、南部、西部の4地域に分け、それぞれの地域に必要な鳥獣の生態と被害対策について9月まで研修を行います。



〔実地研修の様子〕

担当：地域振興課（0558-24-2079）

「石部棚田」で刈草片付けを行いました。

8月25日（土）、26日（日）に松崎町石部棚田で、刈草の片付けが行われました。これは、畦や水口周辺に溜まった刈草や水草を除去し、水の通りを良くするための作業で、あわせて簡単な畦の補修なども行いました。

地味で根気のいる作業ですが、棚田保存会のメンバーを中心に、棚田オーナーやボランティアが黙々と作業に汗を流しました。

今後は、9月29日（土）、30日（日）に収穫祭を行う予定です。



担当：農村整備課（0558-24-2080）

お知らせ・イベント

◆秋の森づくり県民大作戦の開催について

賀茂農林事務所では、河津町教育委員会、NPO 法人豆遊義塾と共催により「秋の森づくり県民大作戦」を開催します。河津町峰の風土の森において、河津町ふるさと緑の少年団とともに、樹木の植栽体験等を実施します。

【開催日時】9月29日（土）

午前9時から午後3時頃まで

【場 所】河津町バガテル公園、風土の森（河津町峰）

【内 容】①（仮）森についての勉強会
② 植栽体験

【対 象】小学校4年生から6年生の児童

お問い合わせ：9月21日（金）までに森林整備課（0558-24-2082）まで

「世界ジオパーク」紀行

「ユウスゲ公園（南伊豆町石廊崎）」

ユウスゲは、7月中旬から8月中旬にかけての間に一夜のみ鮮やかな淡黄色の花を咲かせるユリ科の多年草です。

このユウスゲが自生するユウスゲ公園では、ユウスゲと約100万年前から折り重なる火山の噴出物が作り出す絶景を見ることが出来ます。

南伊豆町を訪れた際は、海底火山の作り出した雄大な海岸と、うるわしくもはかないユウスゲとのコントラストを楽しんでみてはいかがでしょうか？



担い手サミットに向け賀茂地域運営委員会を設立しました。

2019年秋に農業経営の改善や地域農業・農村の発展につなげることを目的とした、全国農業担い手サミットが静岡県で開催されます。このサミットには全体会と県内7地域で開催する地域交流会があり、地域交流会では情報交換会と現地視察研修会を行います。

各市町農業振興会会長や伊豆太陽農業協同組合組合長、市町農政主務課長等で構成する賀茂地域運営委員会を、平成30年6月29日（金）に設立しました。地域運営委員会では賀茂地域の魅力発信に向け、地域交流会の企画運営を行います。

賀茂農林事務所は事務局として、賀茂地域交流会が成功するよう、運営委員会をサポートしていきます。



担当：企画経営課（0558-24-2076）

治山事業要望箇所の現地調査を実施

来年度の治山事業の実施に向けて、山腹崩壊地や荒廃溪流など、市町から治山事業の要望を受けた山林について、現地の状況や要望内容を確認しながら、その周囲を地域住民の皆様や市町の職員と一緒に巡回し、今後の事業計画や対策方法等を検討しています。

近年、集中豪雨や台風等に起因する山地災害等が全国的に多発しています。少しでも不安を感じたら早めの避難と、市町等を通じて情報提供をお願いします。



下田市須原地区の現場

担当：治山課（0558-24-2084）

【連載企画】 賀茂のグリーン ツーリズム体験

東伊豆町「港の朝市」で 名物・特産品を堪能！

今回お邪魔したのは、東伊豆町稲取漁港前の町役場庁舎駐車場で、毎週土・日・祝日の午前8時から午前12時まで開催される「港の朝市」です。

この朝市は、平成9年から始まり、今年で22年目となります。町内の旬な山と海の幸や自慢の加工品を取り扱う約20店舗が軒を連ね、県内外からの多くの人々で賑わいます。

8月26日（日）の朝市では、地元でとれた新鮮な農作物や、特産の「ニューサマーオレンジ」を使用したムースなどの加工品が、訪れた人々の視線を集めていました。



また、稲取漁港で水揚げされた「キンメ」をはじめとした新鮮な魚介類が数多く並んでいました。中でも「キンメ」の釜飯は人気で、一口食べると、キンメの風味が口いっぱいに広がり、海の幸を体いっぱいと感じることができました。



休日の朝、お気に入りの商品を手に、潮風に吹かれながら漁港を歩くと、山と海の恵みの詰まった賀茂地区に暮らしている幸せを実感しました。

皆様も「港の朝市」を訪れ、普段では味わえないさわやかで、穏やかなひとときを過ごしてみたいはいかがでしょうか？



WELLかも！ 「伊豆のところてん」

静岡県は国内でも有数のテングサの産地で、特に東伊豆町や西伊豆町では、昔からテングサの生産が盛んです。ところてんは、テングサを煮出し溶け出した成分を固め、天突きを使って糸状に切ったものです。ところてんの涼し気な見た目や三杯酢のさっぱりとした味は、暑い夏にぴったりかも。

